

だいすき 佐々木!

～ふれあい 人と人 地域の輪～



佐々木地区福祉懇談会・佐々木地区区長会

ごあいさつ

この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、佐々木地区の「福祉活動計画」を策定させていただきました。

佐々木地区福祉懇談会は地区区長会を中心として、各組織、団体の皆さんの協力と地区の回覧文書等を通してご参加いただきました。

この計画は、大勢の方々の個々の思いを出し合っていただき、自らの手で地域の魅力を確認しながら、大好きなふるさと佐々木を真剣に話し合い意見を出し合って、数回の懇談会を開催してまとめたものであります。

各町内には、歴史や独自の文化が存在しております。豊かな自然、環境に恵まれた佐々木地区を誇りに思い、自信を持って助け合いの精神で互いに協調しながら活動していけば必ず明るい未来が見えてくると思っております。また、少子高齢化に対する今後の課題、世帯の減数に伴う空き家対策等、皆さんとまだまだ話し合いたいことも多くあります。

ようやく活動の見えてきた地域福祉を定着させるためには、今迄以上にそれぞれ町内会の益々の努力と根気が必要となってまいります。何事も成功させる為には、まず挑戦が大切です。挑戦なくして成功は望めません。目的に向かって行動です。誰かがやってくれるだろうの気持ちではなく、私がやるんだという精神をもって、若人の住みやすい、年配の皆さんの暮らしやすい郷にと心から思っております。

今後、機会があったら更に検討を加えながら計画を実践してまいりたいと願っております。



平成 28 年 3 月

佐々木地区区長会 会長 大塚 一彦

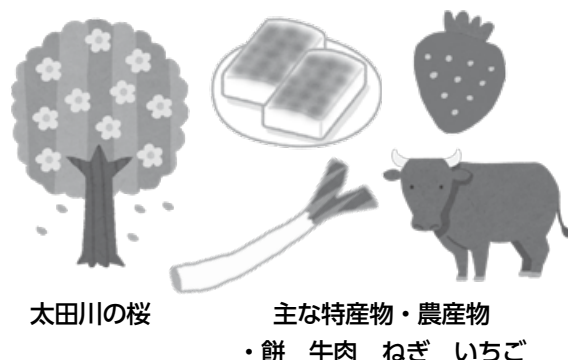
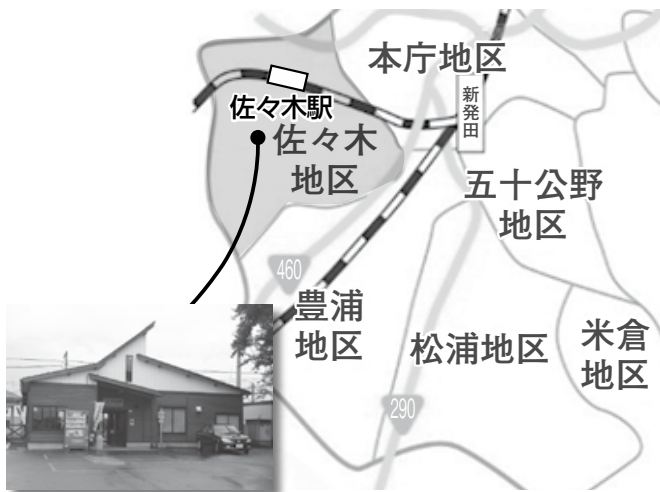
目 次

1 地域伝言板	
(1) 佐々木地区の特徴	1
(2) 佐々木地区の歴史探訪	2
2 計画の概要	
(1) 佐々木地区福祉活動計画とは	3
(2) 佐々木地区福祉活動計画の目的	3
(3) 佐々木地区福祉活動計画の推進に向けて	3
(4) 佐々木地区福祉活動計画づくりの意義	4
3 地域の魅力と現状	
(1) 地域の魅力について	5
(2) 地域の現状について	5
4 福祉活動計画	
(1) 基本理念(スローガン)	6
(2) 基本目標	6
(3) 計画の実現に向けて	7
5 策定方法	
(1) 佐々木地区福祉活動計画策定団体等	10
(2) 佐々木地区福祉活動計画策定経過	11
(3) 佐々木地区福祉懇談会で出された意見	12
6 参考資料	
「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	19
佐々木地区福祉懇談会回覧	21



1 地域伝言板

自然豊か 人情豊か 優しい あったかふるさと わたしたちの佐々木



新発田市の西の玄関口 『田園のまち』 佐々木地区

～佐々木という地名～

※佐々木村は昭和34年4月10日新発田市と合併

福島潟に注いでいる佐々木川の河口から突き出した沙先（岬）が佐崎、佐々木へと変化したと言われており、鎌倉時代から船着場や絶好の漁場として栄えたところでした。

● (1) 佐々木地区の特徴 ●

◆優良な農地に囲まれた農村集落

地区の大部分は農地であり、住宅地は古くから農村集落です。

◆佐々木駅や新新バイパスなど通勤通学の結節点となっている

佐々木駅や地区の外側を通っている新新バイパスは、市の中心部や新潟市方面への交通の重要な拠点となっています。

◆田園や河川、集落林など農村的景観に恵まれ、史跡も豊富である

地区内には太子堂をはじめとした史跡や各集落に屋敷林・水路などが数多く残されています。これらは、水田や太田川の自然とともに魅力ある地区景観を形成しています。

◆コミュニティ活動が活発な地区

古くから農村集落が多いことから地域内のつながりは強く、歴史的資源を活かしたコミュニティ活動なども活発に行われています。

◆佐々木工業団地や西部工業団地がある

佐々木地区の西部には佐々木工業団地とそれに隣接した西部工業団地があり、これらの工業団地は市内でも主要な工業地を形成しています。

● (2) 佐々木地区の歴史探訪 ●

◆西行法師と歌詠み伝説(則清)

西行法師は、平安後期の歌人で本名は、佐藤則清といました。出家する以前は鳥羽上皇に仕えた武士で、出家後に各地を巡り、数多くの歌を残しました。西行法師が各地を巡ったとき、現在の佐々木地区にも立ち寄ったとされ、それにより「則清」という地名が生じたと言われています。この地域には、次のような伝説があります。

西行法師が則清に留まっていた年の9月15日のことでした。いたずら好きな青年たちに芋煮をしようと誘われた西行法師は、月の明かりを頼りに道端の畑の里芋を掘り始めます。

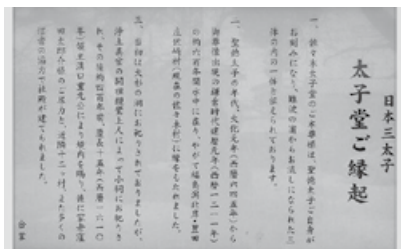
夢中になって掘っていると、突然「芋泥棒」と怒鳴られました。西行法師の手には芋があり、畑の番人につかまってしまいます。周りを見渡すと、青年たちは先に逃げていました。問い詰められた西行法師は、とっさに「あまりにも月がきれいなので、芋にも見せてあげたいと思った」と歌を詠みました。

『十五夜も知らずにいるか芋の子よ 起こしにきたぞ西行が』これを聞いた番人はいたく感心して、許してくれたとのこと。

(参考『しばたの伝説(大沼俊爾編)』『新潟県伝説集成(小山直嗣編)』広報しばた平成27年9月15日号から)

◆太子堂

佐々木の太子堂には、地域の人々の熱心な聖徳太子信仰によって、秘仏として大切に守られてきた聖徳太子像が3体祀られています。日本三太子は佐々木聖徳太子 大阪四天王寺 八尾市勝軍寺



**日本三太子
太子堂の縁起**

一、佐々木太子堂のご本尊様は、聖徳太子ご自身がお刻みになり、難波の浦からお流しになられた三体の内の一体と伝えられております。

二、聖徳太子の年代、大化元年(西暦六四五年)から御尊像の出現の鎌倉時代建暦元年(西暦一二二一年)の約六百年間水中に在り、やがて福島潟北岸・豊田庄佐崎村(現在の佐々木村)に縁をもたれました。

三、当初は大杉の洞にお祀りされておりましたが、浄土真宗の開祖親鸞上人によって小祠にお祀りされ、その後四百年前、慶長十五年(西暦一六〇〇年)領主溝口重元公により境内を賜り、後に家老窪田太郎介様のご尽力と、近隣十二ヶ村、また多くの信者の協力に社殿が建てられました

合掌

◆北谷内稲荷

社殿に「財団法人伏見稲荷大社附属稲荷講社新潟支部」の看板あります。

◆北谷内稲荷奥の院

田んぼの中の森にあります



北谷内稲荷の縁起(由来)が石碑に詳細に刻まれています。

～ 夢枕に白菊大神(女神)が立ったことから奉祀しました ～



◆黒鳥兵衛の鬼塚

平成7年に建立された「史跡 黒鳥兵衛鬼塚」の石碑があります。



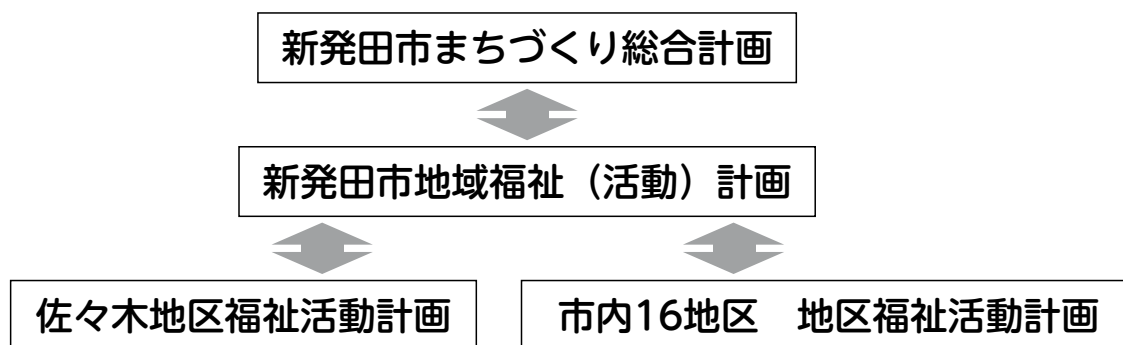
2 計画の概要

● (1) 佐々木地区福祉活動計画とは ●

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉(活動)計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「佐々木地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉(活動)計画」に基づいた計画です。



(順次策定しています。)

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

● (2) 佐々木地区福祉活動計画の目的 ●

佐々木地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域(佐々木地区)で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

● (3) 佐々木地区福祉活動計画の推進に向けて ●

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、佐々木地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取組を進めていくことが重要です。

● (4) 佐々木地区福祉活動計画づくりの意義 ●

佐々木地区福祉活動計画を地域みんなで作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて**協働**することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の**理解**と**協力**が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、**段階的・継続的**に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の**優先順位**や**重点**がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の**課題**を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の**連帯**も強くなる。

みんなで作る佐々木地区福祉活動計画





3 地域の魅力と現状

佐々木地区福祉懇談会で見えてきた地域の魅力と現状

佐々木地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは佐々木地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで佐々木地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成27年11月～平成28年1月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

● (1) 地域の魅力について ●

- ① つながりについて
 - ・あいさつが良い
 - ・おすそ分けがある
 - ・学校と地域が連携している
 - ・地域のつながりが強い
 - ・隣近所の仲が良い
- ② 地域活動について
 - ・防犯組織の活動が活発である
 - ・集まれる場所がある
 - ・文化活動に熱心である
 - ・見守り活動が活発である
 - ・昔からの地域行事を継続している
 - ・レクリエーション活動が活発である
 - ・民生委員が活発に活動している
 - ・コミュニティたよりを月1回発行している
- ③ 社会資源について
 - ・日本三大太子堂がある
 - ・公共施設や商業施設が多い
- ④ 地域性について
 - ・思いやりのある人が多く人柄が良い
 - ・子どもが素直で元気である
 - ・同居家族が多い
 - ・地場産の食材が多く食べられる
 - ・景色が良い（田んぼや太田川の桜など）

● (2) 地域の現状について ●

- ① つながりについて
 - ・年々行事が少なくなっている
 - ・世代間の交流が少ない
 - ・地域に関心がない人が増えている
 - ・困りごとがあっても遠慮して言えない人がいる
- ② 地域について
 - ・空き家が増えている
 - ・高齢者など家に閉じこもりがちな人がいる
 - ・単身世帯や高齢者世帯が増えている
- ③ 生活について
 - ・車がないと生活が不便
 - ・地域以外の人のごみのマナーが悪い
- ④ 後継者不足について
 - ・町内会の役員のなり手がいない
 - ・子どもや若者が少なくなっている

4 福祉活動計画

佐々木地区福祉活動計画

● (1) 基本理念(スローガン) ●

佐々木地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

だいすき 佐々木!

～ふれあい 人と人 地域の輪～



● (2) 基本目標 ●

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	学校、家族、地域のつながりを深めま笑！佐々木地区 <small>しやう</small>
基本目標 2	みんなで支え合いま笑！佐々木地区 <small>しやう</small>
基本目標 3	防犯防災に強い 安心・安全な地域にしま笑！佐々木地区 <small>しやう</small>
基本目標 4	知って大好き 歴史や文化を楽しみま笑！佐々木地区 <small>しやう</small>
基本目標 5	暮らしやすい 希望あふれる活発な地域にしま笑！佐々木地区 <small>しやう</small>



● (3) 計画の実現に向けて ●

目標達成の具体的な取組の例 → 福祉懇談会では
自分達でどんなことができるのか
アイデアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

基本目標 1 学校、家族、地域のつながりを深めま笑！佐々木地区^{しょう}

目 標		実施項目(取組の例)
1	気楽に元気に声かけ合って、近所のつながりを深めま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣、気軽に声かけをする ・防犯・防災、みんなで訓練に参加し互いに協力しあう ・会った人にあいさつをする ・積極的に声をかけあう(回覧板を回す時の声かけ運動など) ・つながりを大事にする(野菜を分けあえるような関係性づくり) ・あいさつ運動 ・保育園・小学校・中学校のつながりを活かす ・学校や地域の活動に誘い合う ・コミュニティ活動を活発にする
2	みんなで地域に関心を持ちま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加してもらうために声をかける ・明るい元気なあいさつ ・子どもからお年寄りまで交流できる場を作る



基本目標2 みんなで支え合いま笑！^{しょう}佐々木地区

目 標		実施項目(取組の例)
1	地域の子どもをみんなで育てま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・本心で向き合う本当の近所付き合いを目指す ・子どもは佐々木の宝、大切に育てる(良い所は伸ばす、見て見ぬふりをしない)
2	地域コミュニケーションの活性化を図りま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりを持ち、優しい態度で接する ・良好な近所付き合いをする
3	老いも若きも支え合いま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけ合い、見守る ・気軽に集える、お茶飲み場などを作る ・困っていることを言える関係づくり ・日頃から隣同士の声かけ、あいさつをする ・悪口を言わず、認め合う関係づくり

基本目標3 防犯防災に強い 安心・安全な地域にしま笑！^{しょう}佐々木地区

目 標		実施項目(取組の例)
1	佐々木を見守りま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所づくり(サロン・お茶の間) ・子どもからお年寄りまで気軽に声をかけられる関係づくりをする ・ながら見守りの充実 ・子どもなどの見守り活動を行う ・防犯の見回り活動 ・防犯パトロールの強化 ・地域の組織による登下校パトロール ・危険箇所の点検や見回りの実施 ・防災訓練の実施 ・消防団との連携強化を目指す ・防災について考える機会を作る(各地区の自主防災組織の立ち上げ、防災ラジオの活用、防災マップなど)





基本目標4 知って大好き 歴史や文化を楽しみま笑！佐々木地区^{しょう}

目 標		実施項目(取組の例)
1	佐々木の歴史や文化に関心を持ちま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の勉強会を開く ・歴史や文化・自然を守りつなげる取組を検討する（太子堂、桜、古太田川、賽の神、黒鳥兵衛の鬼塚、稲荷神社、北谷内稲荷） ・地域行事に関心を持って参加する ・佐々木の歴史、文化を学び次世代へつなぐ

基本目標5 暮らしやすい 希望あふれる活発な地域にしま笑！佐々木地区^{しょう}

目 標		実施項目(取組の例)
1	暮らしやすい佐々木をつくりま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が暮らしやすい地域を作る 交通手段、コミュニティバス、デマンド交通(乗り合い)サロン活動、活躍の場づくり、見守りの仕組みづくり ・環境整備(若者に魅力があり、子育てしやすい地域づくり、交通や公園の整備) ・関わりが深く顔の見える関係づくり(行事や集まりへの積極的な参加) ・地域の中で余暇時間を利用した芸術文化、サークル活動の実施 ・子育てに関する負担を減らし、子どもを増やそう！ ・三世同居を推進する取組を検討する ・ゴミ出しやペットのマナーを守る
2	希望ある活発な地域にしま笑！	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の思い出づくりを実施 ・地域行事を開催する



5 策定方法

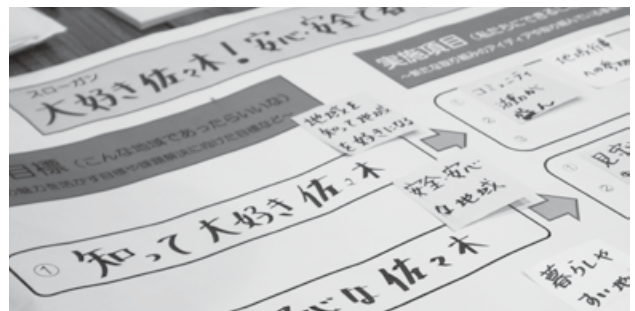
● (1) 佐々木地区福祉活動計画策定団体等 ●

佐々木地区福祉活動計画は、佐々木地区区長会を中心に自治会・町内会の代表者、民生委員児童委員・主任児童委員、保健自治会、子供会・育成会、佐々木小学校・中学校PTA、グループホーム地利目木、新発田西地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

■佐々木地区

1	佐々木町内会
2	佐々木第一
3	曾根
4	上中沢
5	上中沢西町内会
6	日渡
7	則清
8	則清新田
9	西宮内
10	北菘口集落会
11	西菘口
12	飯島甲自治会
13	飯島乙自治会
14	下興野自治会
15	太田新田
16	飯島新田
17	鳥穴自治会
18	砂山自治会

- 佐々木地区区長会
- 自治会・町内会の代表者
- 民生委員児童委員
- 主任児童委員
- 保健自治会
- 子供会・育成会
- 佐々木小学校・中学校PTA
- グループホーム地利目木
- 新発田西地域包括支援センター
(佐々木地区担当)





● (2) 佐々木地区福祉活動計画策定経過 ●

年 月 日	会 議 等	内 容
平成27年5月8日	佐々木地区区長会 (佐々木コミュニティセンター)	・佐々木地区福祉活動計画について説明 (参加者25名)
平成27年8月28日	打合せ (佐々木コミュニティセンター)	・地域福祉懇談会について 佐々木地区区長会役員と事前打合せ (参加者6名)
平成27年10月15日	第1回 佐々木地区福祉懇談会開催案内 回覧	
平成27年10月15日	佐々木地区区長会 (佐々木コミュニティセンター)	・佐々木地区福祉活動計画について説明 (参加者25名)
平成27年11月17日	第1回佐々木地区福祉懇談会 (佐々木コミュニティセンター)	・「佐々木地区福祉活動計画」勉強会 ・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者74名)
平成27年12月1日	第1回 佐々木地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年12月16日	第2回佐々木地区福祉懇談会 (佐々木コミュニティセンター)	・グループワーク2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 計画の基本目標の検討 ・グループ発表 (参加者63名)
平成28年1月5日	第2回 佐々木地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成28年1月19日	第3回佐々木地区福祉懇談会 (佐々木コミュニティセンター)	・グループワーク3 前回の振り返り及びまとめ 基本目標の検討 スローガンの検討 ・グループ発表 (参加者55名)
平成28年2月1日	第3回 佐々木地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成28年2月10日	第1回編集委員会 (佐々木コミュニティセンター)	・佐々木地区福祉活動計画の基本理念、基本目標 などの検討 (参加者17名)
平成28年2月24日	第2回編集委員会 (佐々木コミュニティセンター)	・佐々木地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目 などの検討 (参加者15名)
平成28年3月22日	第3回編集委員会 (佐々木コミュニティセンター)	・佐々木地区福祉活動計画(案)修正・確認等 (参加者17名)
平成28年3月	・佐々木地区福祉活動計画完成	

● (3) 佐々木地区福祉懇談会で出された意見 ●

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています）

1 私たちの地域のいいところ

- ・ 駅、郵便局、駐在所、コンビニなど施設が多くて便利
- ・ 工業団地は完売した→働く場所がある
- ・ 集落の会合の出席が良い
- ・ 安心して住めるような地域
- ・ 見晴らしの良い田園風景で夕日がきれい
- ・ 災害のない地区です
- ・ 新しいふれあいセンターがあります
- ・ 子どものあいさつが良い
- ・ 小学生の元気なあいさつが良い
- ・ 思いやりのある人が多く、おおらか
- ・ 人柄が良い
- ・ 防犯組織が下校時のパトロールを毎日やっている
- ・ 昔からの行事が多く、今も続いている
- ・ 交通の便が良い
- ・ 佐々木に日本三大太子がある
- ・ 盆踊りを毎年やっている
- ・ 高齢者施設も地域の「おのと」に誘って頂ける
- ・ 地域の行事に施設の方も参加してくれる
- ・ 隣近所だけでなく、佐々木全体のあいさつが良い
- ・ 田んぼに蛙の声が聞こえる
- ・ 地域のお祭りが年6回あり集まることが多い
- ・ 盆踊り大会がある
- ・ 太子堂の桜がきれい
- ・ 太子堂がある
- ・ 工場の桜がきれい



- ・ 様々な関わりがあり地域に住んでいる方の顔がわかること
- ・ あまり事件がない
- ・ 福島潟が近い
- ・ 農業地域で「農地水（農地・水・環境保全向上対策）」に取り組んでいる
- ・ 気遣いのある所、できる所
- ・ 新潟市に近い
- ・ 駅の隣に地域の野菜販売所がある
- ・ 何事にもまとまりのある所
- ・ 工業団地がある
- ・ 子どもが元気
- ・ 子ども達が素直
- ・ 地域を上中下の3つに分けて役員を決めている
- ・ 各集落内のつながりが強い
- ・ 市内の中では都会かな
- ・ 太田川、田んぼ
- ・ 田んぼが多い
- ・ 自然の中を散歩ができる
- ・ 白鳥が飛来する
- ・ 広い水田がある
- ・ 静かである
- ・ のどかである
- ・ 子どもの頃からの知り合いが多い
- ・ 地域にサロンがある
- ・ 農家が多く地場産の食材が多く食べられること
- ・ 親しみやすい



- ・年1回(8月)地域全員参加のレクリエーション(バーベキュー、カラオケ、盆踊り)を実施している
- ・川の生き物調査を行なって、自然とのふれあいをしています
- ・親睦旅行、暑気払い
- ・車や電車の交通が便利
- ・若い方の家が4世帯増える
- ・町内のまとまりがある
- ・空き家がない
- ・高校生が懇談会に参加してくれる
- ・子ども達のあいさつが大変良い
- ・大人も子どももあいさつが良い
- ・おおらかである
- ・空港が近い
- ・医者、病院が近い
- ・子どもの頃から参加している盆踊り
- ・他人の子どもに無関心ではない
- ・敬老会・芸能祭・作品展等が毎年開催され、地域のつながりが良い
- ・家庭内の事情を良く分かっている
- ・隣近所のつながりがある
- ・老人会の集りがあって良い
- ・特に問題がないこと
- ・景色が良い
- ・小学生のあいさつが良かった
- ・あいさつが良い
- ・緊急事態があったとき、地域の消防団等のみんなで対応した
- ・文化活動が熱心な地区
- ・個性的である



- ・生活していくうえで、この上ない地区です(空気、水が良い)
- ・防犯活動が熱心な地区
- ・地域の安全パトロールを良くしてもらっている
- ・色々な物事を連絡してくれる所
- ・民生委員が一生懸命
- ・佐々木に嫁に来て良かった
- ・隣近所の仲が良い
- ・共同の作業では多くの人が集まります
- ・おすそ分けがある
- ・昔ながらの近所づきあいがある
- ・芸術文化活動が活発
- ・お隣とは良くあいさつができる関係があります
- ・ごみ捨て場の掃除当番が毎日ちがう
- ・近所のおばあさん達が近隣をよく見ていて、ここの家の車が何日動いていないとか話している
- ・学校の行き帰り子どもがあいさつをしていく
- ・犯罪がない(少ない)
- ・バスも電車も近くを走っていて交通の便が良いです
- ・子どもの数は少ないがスポーツが活発
- ・地域の皆さんが子どもを見守ってくれている
- ・防犯協議会、PTA等のパトロールが充実
- ・子どもが少ないだけに地域と学校が密接!
- ・佐々木コミュニティセンターがある
- ・生涯学習活動がある
- ・発表できる場がある
- ・コミュニティたよりを月1回、全戸配布している
- ・土地が広い
- ・店が近い
- ・高速道路に近く、交通の便が良い
- ・駅前にスナックが1軒ある



- ・ 太田川の桜がきれい
- ・ 太田川の分水、古太田川が両新田の間に流れている感じが良い
- ・ 田んぼがある
- ・ 田んぼから眺める二王子山の風景がとっても美しい
- ・ 自然が豊か
- ・ お米がおいしい
- ・ 良質の米がとれるし野菜も豊富でおいしい
- ・ 高齢者が元気である
- ・ 大きな事件もなく、猿や熊も出ず水害もなく住み良い
- ・ 生活しやすい
- ・ 最近感じたが子ども達のあいさつがはっきりしてきた
- ・ 小・中・高おまけに大学もある
- ・ 小・中学生の歯みがきが上手！
- ・ 中学生合唱コンクールで優勝するほどうまい
- ・ 学校がコンパクト
- ・ 子ども達は保育園から小・中学校まで一緒である
- ・ 教育環境がすばらしい
- ・ 住民が優しく、みんな親切
- ・ 争い事がない
- ・ 町中でもなく平野部で人間的におだやかな人が多い
- ・ 人が優しい
- ・ おじいちゃん、おばあちゃんが多い
- ・ 同居家族が多い
- ・ 顔の見える関係が多い
- ・ 頑張っている方が多い
- ・ 通勤、通学に便利（東港、新潟市方面）
- ・ 防犯パトロールを毎日している
- ・ 防犯、防災活動を活発にしている

2 身近なところで困っていること

- ・ 若い人が町内のことに興味がない
- ・ 空き家がある
- ・ 認知症の人がどこの家にいるのか分からない
- ・ 県道の歩道に段差があり高齢者が歩きづらい
- ・ 地域外の人が高速道路脇にごみを捨てにくる
- ・ 顔の知らない人が多い
- ・ 名前と顔が一致しないことが多い
- ・ 道路に空き缶やごみが落ちていても誰も拾わない
- ・ 地域以外の人に対して排他的な所が見られる
- ・ 町内会の役員を引き受ける人がいない
- ・ 堤防の木が大きくなり危ない
- ・ 犬のフンの放置がある
- ・ 老人クラブが廃部になり淋しい
- ・ 川が流れている所の安全が不安
- ・ 子どもが少ない
- ・ 下校時など、人が余りいない場所があり1人で帰せない
- ・ 地域の祭りや子ども会の役員を何年もしなければならぬ
- ・ 若い人が少ない
- ・ お年寄りの送り迎えが大変
- ・ 朝、進入禁止の通学路に車が入ってくる
- ・ 子ども達が通学する歩道に草が生えていて歩けない
- ・ 佐々木に住みたいと言っている人がいるのに家を建てられない
- ・ 用水路、川などで遊んでいないか心配
- ・ 市街化調整の関係で農地が宅地にしにくい
- ・ 新発田川のごみがみんな集まる
- ・ 保育園がなくなり寂しい
- ・ 子どもの数が減ってきた





- ・免許証を返した高齢者の交通の便が悪い
- ・道が狭い
- ・太田川にごみが多い
- ・集落の集まりに出てこない所がある
- ・蛙がうるさい
- ・学校が遠い
- ・環境整備が遅れている
- ・お店が近くになく買物が不便
- ・街灯が少ない
- ・スーパーが遠く、車がないと行けない
- ・往診してくれる医院が少ない
- ・単身世帯、高齢者世帯の増加
- ・保育園がなくなって静か
- ・子ども達が少し元気がない（活気がない）
- ・子どものあいさつがない
- ・どこの嫁さんか分からない
- ・年々行事がなくなっている
- ・日中の人影が少ない
- ・犬のフンの後始末
- ・犬の哭声
- ・野良猫に餌を与える人がある
- ・通学路に街灯がない
- ・新発田川の汚れがひどい
- ・回覧を見ないで回す
- ・子ども会の行事が少なくなり、交流の場が少なくなっている
- ・世代間の交流が少ない
- ・町内会規模が大きいので集まることが少ない
- ・空き巣が発生している
- ・子どもが親の後ろ姿を見ていない
- ・お年寄りが家に閉じこもっている
- ・ごみがポイポイ捨てられる（外の人から）



- ・外の人間が入ってきやすい
- ・地域が大きすぎる
- ・ごみを焼く人がいるが焼いても良いものはあるのか解らない
- ・不審者が多い所 4月～4件（警察に連絡）
- ・洗濯物ドロボー
- ・ごみのポイ捨て
- ・親族の介護で悩みが多い
- ・高齢者世帯、一人暮らしが多くなっている
- ・地域に空き家が4軒もあり防犯上、困っている
- ・認知症の方が多くなっている
- ・近所づきあいが少なくなり、集まる機会がなくなったため組織が消滅
- ・町内の役員のなり手が無い
- ・地域に店がなくなり困ります
- ・地域によっては買物が不便
- ・子どもの数が少なくなってきた
- ・子どもが少なくなり、学校から帰っても遊ぶ相手がない
- ・交通の便が悪いので、医者に行く手段がない
- ・困りごとがあっても遠慮して言えない方がいる
- ・お年寄りが多いのに集落の老人クラブがなくなったので引きこもりが心配
- ・除雪が遅い
- ・冬期間の学校への送迎
- ・コミュニティバスがない
- ・車がないと通院などが不便
- ・町内を車がスピードを出して走る
- ・家族の人数が少ない
- ・町内に独身の人が多い気がする
- ・道が暗い
- ・子どもの人数が少ない 嫁不足である

- ・よそから入って来た人が町内に入ってくれない
- ・外国籍の人とのコミュニケーションが難しい
- ・色々な話は出るがまとまらない
- ・新発田川の雑草が多い
- ・ごみの投げ捨てがあり、放置自転車もある
- ・空き缶、ごみを田んぼに捨てていく
- ・どんどん子どもが減っている
- ・年頃の独身者が多い=子どもが減少
- ・子どもが少なく団体スポーツができない
- ・だんだんコミュニケーションが減っている人がでてきた
- ・隣との交流がなく特に若い世代との関係がないのでこのどなたか分からない
- ・地域の役を1人が何役もしている
- ・若い世代の地域参加が少ない
- ・子ども達の遊ぶ所が少ない
- ・気楽に集まる場所が少ない
- ・老人クラブに入る人が少なくなって困っている
- ・老人クラブが少なくなってきた
- ・飲食店が少ない
- ・車がないと用を足すのが大変
- ・車がないと用事（買物）ができない
- ・交通弱者への対応がない
- ・病院が遠くて高齢者は困る
- ・冬の歩道、除雪がスムーズになっていない
- ・交通の便が悪く冬場は陸の孤島
- ・街灯が少ないようだ（暗い）
- ・もしも！！の時どうする？
- ・災害時の避難場所が決まっていない
- ・災害時の避難所が遠い
- ・昔と違って地域毎の消防団が集約されて人数も減り、いざと言うとき大変不安です！！



3 こんな地域であつたらいいな

- ・婦人会など女性のサークルのようなものがあつたら良い
- ・コミュニティバスが欲しい
- ・自主防災組織があつたら良い
- ・年齢関係なく誰でも集まって話し合える機会があれば良い
- ・ラジオ体操の会があれば良い
- ・ボランティアでのスポーツクラブ（健康・高齢者）
- ・困っていそうな人が（いる）いたら、誰でも気軽に手を差しのべることが、普通にできる人が大勢いたらいいな
- ・入居者が外で迷子になった時の協力体制
- ・いい意味で、おせっかいの人が増えたらいいな
- ・高齢者施設と地域との防災の協力体制
- ・若い人が生活できる、子どもをつくれる地域
- ・定年したばかりの人がもっと高齢者の手助けができる
- ・昔のように男性が地域行事に出る
- ・安心して子育てできる地区
- ・一度出た若者が戻ってきたいと思える地区
- ・高齢者が子どもに智慧を伝える
- ・子どもが増え小学校各学年2クラス
- ・小中一貫校
- ・防災ラジオがあれば良い
- ・子どもがたくさんいるといいな
- ・子ども会にお父さん達の参加がたくさんあると良い
- ・車がなくても住める地域
- ・ワンコインバス
- ・スクールバス
- ・子どもが外で遊べる
- ・地域に保育園があれば良い
- ・日中、高齢者が歩いて行ける、お茶飲みできる場所があるといいな
- ・公園のある地域
- ・地域住民とつながりが持てる祭りやイベントがあるといいな
- ・近くに商店があるといいな
- ・若者がたくさん住んでいる地域
- ・デマンドバスなど交通機関が整備されている地域



- ・単身生活の方を気にかけてくれるシステムがあるといいな
- ・子どもがたくさんいて活気がある地域
- ・高齢者が過ごしやすい地域
- ・駅などの交通機関を利用しやすい地域
- ・高齢者が活躍できる地域
- ・子どもが増える
- ・子どもが多くなって欲しい
- ・若い世代が地域の問題などに関心を持つ
- ・みんなで助ける町内
- ・皆さん集まって情報交換
- ・地域の情報がきちんと共有できている
- ・お年寄りが集まれる場所があったら良い
- ・ごみの放置がなくなる
- ・地域に見守り隊
- ・働く場所が多い
- ・地域のことに関心を持つ
- ・色々な事に関心を持って欲しい！
- ・安心・安全な地域
- ・防災の体制が整い、緊急事態があったときに慌てない地域であって欲しい
- ・認知症の方が地域内で生活できるといいな～
- ・困ったことがあったら相談できる人がいる
- ・前向きな意見を言い合える仲間作り
- ・高齢者に優しい
- ・若者の働く場があるといいなあ
- ・全員なんでも話しができるような集落
- ・子どもからお年寄りまで交流できる場があるといいな
- ・地域の幹線道路が狭いので整備されたら良い
- ・地域の市街調整区域を外して欲しい！
- ・開放的な地区
- ・お茶の間サロンが他にもあったらいいな
- ・子ども達が増えるといいな
- ・活気のある地域であつたらいいなあ～
- ・地域の行事などにもっと参加が増えるようになったらいいな!!
- ・介護予防のための教室を多く開いて欲しい
- ・大きな病院が近くにあったらいい
- ・スーパーが近くにあったらいい
- ・新しい集会場が欲しい
- ・新発田川の土手の草刈りをまめにしたい
- ・コミュニティバスが通ってくれたらいいと思います
- ・こういう会合に、もっと若い人たちにも声をかけて参加して欲しい
- ・街灯が増えたらいい
- ・若い人が結婚して欲しい
- ・子どもの声が聞こえたら
- ・孫達の遊ぶ公園があつたらいいな
- ・若い人が住める地域
- ・子どもが多くいる地域
- ・いい男がいっぱい、いい嫁がいっぱい、可愛い子どもがいっぱい
- ・全員（子ども、大人）があいさつをする集落
- ・支え合える地域
- ・隣近所でおすそ分けする関係
- ・悪口を言わず褒め合う関係
- ・よその子を叱れる
- ・仕事のある地域
- ・認知症になっても安心して住める
- ・介護予防、認知症予防のため歩いて集まれる場所づくり
- ・駅前に団地
- ・太田川、桜や散歩道が他の所にもあれば…
- ・親水公園をみんなの話し合いで活用する
- ・規制があつて新築しにくいので、そこを改善しては？
- ・防災に強い地域
- ・防犯対策 安心して住める地域
- ・水害の心配ない田園文化地区
- ・デマンドタクシー、乗り合いバスがあれば良い
- ・地域有線放送
- ・学校、家庭、地域が連携し、子ども達を守るシステム作り



4 私たちにできること

- ・1年1回防災訓練をしたい
- ・自主防災組織を設立する
- ・防犯活動をもう少し活発にやりたい
- ・困っている問題を共有して話し合える
- ・地域の人の様子を気にかけてながら何か異変に気づいたら声かけをする
- ・向こう三軒両隣、気軽に声をかけられる関係になりたい
- ・地域の人達のことを気にかけること
- ・草刈り、ごみ拾い等を自主的にしたい
- ・声をかけられたら、すぐに行動したい
- ・コミュニティバスを巡回して欲しい
- ・地域で見かけた子どもには声をかける
- ・子ども会の行事や地域の祭りなど多くの方が参加できるようにする
- ・子どもの登下校を見守るパトロール
- ・地域の单身生活者を把握し、回覧板の声かけ運動
- ・声かけ運動
- ・高齢者の方の特技を申告して頂き、活かせる場所とのマッチング
- ・サロン作り
- ・声かけをする
- ・声をかけあう
- ・防災について考えてみる（自主防災組織）
- ・積極的に参加する
- ・気軽に話しのできる地域にしたい
- ・人と人との絆を高める
- ・相談に乗る
- ・地域に60～70歳で時間がとれる人が多くなっているの
で、何かボランティアがあれば
- ・高齢でも何か協力できることがあれば…
- ・地域内の見まわり
- ・地域での見守り活動
- ・自分から声をかける、あいさつをする
- ・地域子ども達をみんなで見守る
- ・見て見ぬふりをせず、関心を持つこと
- ・地域に関心を持つこと
- ・大人や子ども、みんながあいさつできたらいいな
- ・連絡網を密にする
- ・道路にある空き缶、ビニール袋等は拾うようにしている！
- ・悪いことは遠慮せず注意する
- ・地域のお年寄りをみんなで見守る
- ・困っている事に気付き相談に乗り、上の方につなげる
- ・高齢者の方の様々な相談窓口であることの周知
- ・認知症の方に対する理解を深めるために、認知症サポーター養成講座の開催
- ・地域を訪問し地域の生の声を聞く
- ・子ども達に自分からあいさつをする
- ・地域の公会堂をコミュニティセンターとして使用する
- ・クリーン作戦を頑張る
- ・子ども達に書道を教えている
- ・できるだけ集会に参加する
- ・一人暮らしの人に声をかける
- ・地域行事への参加
- ・若いお母さんに婦人会に入ってもらおう
- ・子どもの見守り
- ・見守り、声かけ
- ・子ども達に声かけ
- ・町内会の行事活動に参加する
- ・育成会を通して顔を知る
- ・誘われたらどこでも顔を出します！！
- ・民生委員としてお役に立ちたい
- ・地域内でのあいさつ
- ・あいさつをする
- ・災害時にお役に立てるかな…？
- ・徘徊のある人の把握
- ・認知症カフェなどのサポーター
- ・それぞれの担当で高齢者に対して見守り
- ・引っ越してきた方を歓迎する
- ・家族で災害時について話し合う
- ・防犯の見廻り活動
- ・何でも家庭で話し合える





6 参考資料

「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

1 基本理念

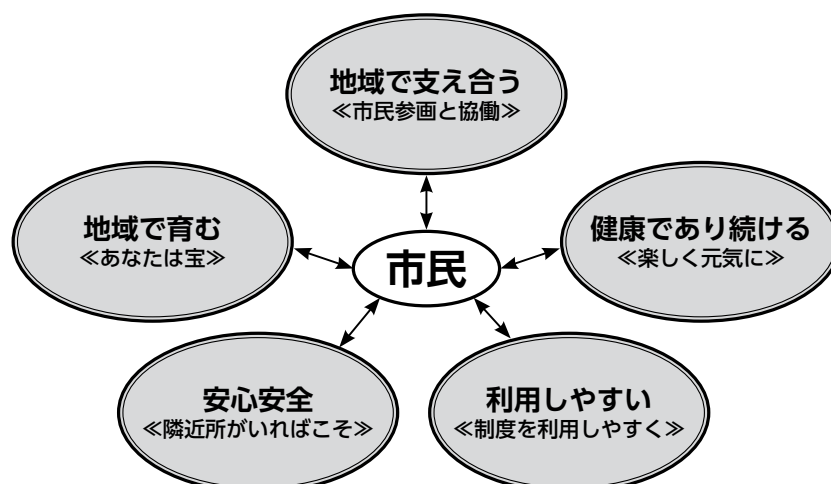
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域とともに支え合い、
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。

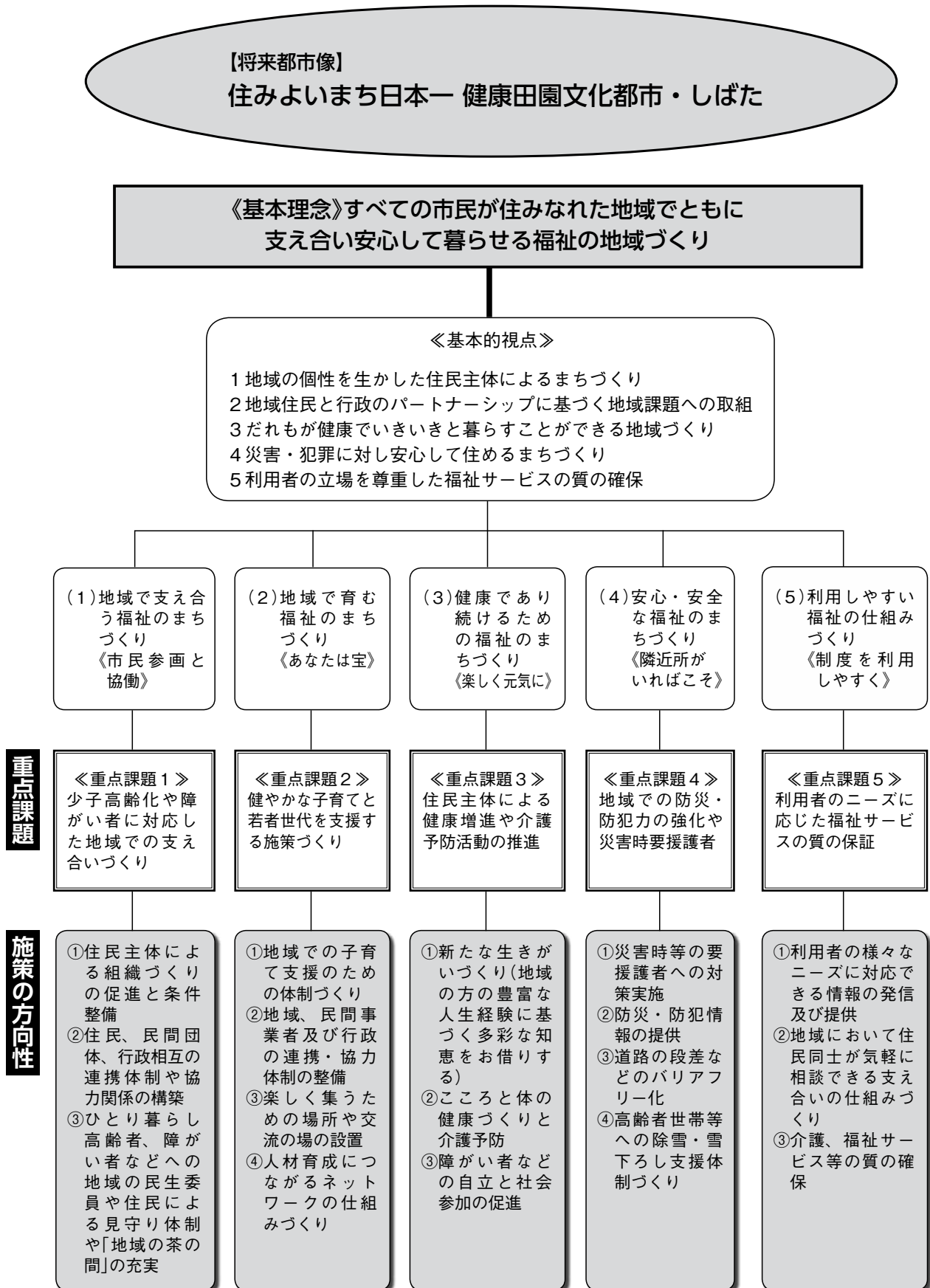


新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課 Tel 22-3101 新発田市社会福祉協議会 Tel 23-1000

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。





佐々木地区福祉懇談会

回覧

第1号 | 平成27年12月1日

**誰もが住み慣れた
地域で安心して
生活を送るために**

地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みづくりを目指して



第1回佐々木地区福祉懇談会

日時 平成27年11月17日(火)
会場 佐々木コミュニティセンター
参加者 住民55名
市・社協・包括19名

- ①開会挨拶
佐々木地区区長会 大塚副会長
- ②趣旨説明
新発田市 社会福祉課
- ③勉強会
新発田市社会福祉協議会
- ④グループワーク
「魅力あふれる佐々木地区を目指して」
- ⑤閉会挨拶
佐々木地区区長会 渋谷会計

福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的

な制度(公助)の連携によって解決していこうとする取組が必要です。

佐々木地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「佐々木地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

佐々木地区福祉懇談会

第2号 | 平成28年1月5日

回覧

**地域のすべての人が
自分らしく安心して暮らして
いける地域を目指して**

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



第2回佐々木地区福祉懇談会

日時 平成27年12月16日(水)
会場 佐々木コミュニティセンター
参加者 住民 45名
市・社協・包括 18名

- ①開会挨拶
佐々木地区区長会 大塚会長代行
- ②グループワーク
 - ・ 前回の振り返り及びまとめ
 - ・ 地区の現状と課題の整理
 - ・ 基本目標の検討
 - ・ グループ発表
- ③閉会挨拶
佐々木地区区長会 渋谷会計

ほっとけない「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“佐々木地区福祉懇談会”では、より多くの住民に地域への関心を持って

らい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ（地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること）の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。



佐々木地区福祉懇談会

回覧

第3号 | 平成28年2月1日

地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように
身近な地域で福祉活動を活性化し、
新しい地域づくりを目指します



第3回佐々木地区福祉懇談会

日時 平成28年1月19日(火)
会場 佐々木コミュニティセンター
参加者 住民40名、市・社協15名

- ①開会挨拶
佐々木地区区長会 大塚会長
- ②グループワーク
 - ・前回の振り返り及びまとめ
 - ・基本目標の検討
 - ・スローガンの検討
 - ・グループ発表
- ③閉会挨拶
佐々木地区区長会 渋谷会計

これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取組を目指して

ご近所の助け合いによって
支えられてきた人々の暮らしが、
生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、
地域での連帯感の希薄化などが
すすみ、制度の谷間にあつて
対応できない課題も多く生じて
きています。

佐々木地区福祉懇談会では、
地域の住民が主体となつて
地域での支え合いをすすめる
取組を活性化し、住み慣れた
地域でこれまでの社会関係

を維持しながら、誰もが生き
がいをもち、地域の社会資源
として役割を發揮する地域づ
くりに向けて力を合わせるこ
とが必要と考えます。

第3回懇談会では、第2回
のグループワークで話し合わ
れた内容を振り返りながら、
整理したキーワードをもと
に、佐々木地区福祉活動計画
の基本目標やスローガンを検
討しました。

佐々木地区編集委員会		
No	所属	氏名
1	佐々木地区区長会	大塚 一彦
2	佐々木地区区長会	渋谷 順一
3	佐々木地区区長会	大塚 久雄
4	佐々木町内会	後藤 政実
5	佐々木町内会	後藤 圭
6	佐々木第一	大塚 陽子
7	日渡	高橋 幸子
8	下興野自治会	熊倉 舞
9	太田新田	小林 栄子
10	西簗口	石黒奈津子
11	飯島新田	高橋 順子
12	第3地区民生委員児童委員協議会	渡邊 則子
13	第3地区民生委員児童委員協議会	阿部佐枝子

～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：佐々木地区編集委員会・佐々木地区区長会
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成28年3月
新発田市

〒957 - 8686 新発田市中心4丁目10番4号
社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
〒957 - 0054 新発田市本町4丁目16番83号

便利帳

高齢者に関すること

内容	問合せ先	電話番号
高齢者全般及び介護保険制度に関すること	新発田西地域包括支援センター (佐々木地区担当)	32-3927
	新発田市 高齢福祉課	22-3101
後期高齢者医療制度に関すること	新発田市 保険年金課	22-3101

障がいに関すること

内容	問合せ先	電話番号
障がい全般に関すること	緑風園相談室	26-8822
	こころの相談支援ウィング	28-3355
	新発田市 社会福祉課	22-3101
障がい者の就業・生活に関すること	障がい者就業・生活支援センターアシスト	23-1987

子どもに関すること

内容	問合せ先	電話番号
児童や子育て全般に関すること	新発田市 こども課	22-3101
	新発田児童相談所	26-9131
保育園	たから保育園	27-8415
小学校	佐々木小学校	27-2011
中学校	佐々木中学校	27-2505

健康に関すること

内容	問合せ先	電話番号
休日・夜間の急病に関すること	新発田地区救急診療所	23-8350
健康全般に関すること	新発田市 健康推進課	22-3101
	新発田市 健康推進課	22-3101
心の健康や悩みの相談に関すること	新発田保健所	26-9133
	こころの相談支援ウィング	28-3355

その他

内容	問合せ先	電話番号
仕事や生活の困りごとに関すること	新発田市 社会福祉課	22-3101
生活保護に関すること		
生活福祉資金に関すること	新発田市社会福祉協議会	23-1000
ボランティアに関すること		
ニート・ひきこもりの社会参加に関すること	下越地域若者サポートステーション	28-8735
ニート・ひきこもりの就労相談に関すること		
地域の活動交流施設	佐々木コミュニティセンター	27-6627
地域の治安に関すること	新発田警察署 佐々木駐在所	27-8216

心配ごと、悩みごとをひとりで抱えていませんか？

民生委員児童委員・主任児童委員は地域の身近な相談相手です。相談内容に応じて適切な関係機関へつなぎます。